

NOTRE DAME UNIVERSITY KYOTO

マリアン

第32号
発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成14年4月5日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
TEL/075 701-9149

人生は出会いで創られる



会長 本多ゆり
(2E)

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

母校創設二年目に入学し、貴重な四年間を過ごしました。その間いただいたノートルダム・スピリットに卒業後の節目毎に大きく支えられてきたことを思います。感謝とともに、出来ることあれば使っていたかどうかと役割をお受けした次第です。役員、活動スタッフの皆様と共に心ひとつにして務めを果たしたいと存じます。どうかよろしくお願いいたします。

世界は平和を脅かす様々な争いに巻き込まれています。一人ひとりの平和を求める心を

ひとつにして必要なことのために力を合わせることが出来ますようにと祈ります。同窓会のボランティア活動で集まりましたさやかな義援金は、インド、ネパール、アフガンと、テロ事件の一被害者遺児にお届けする事ができました。(七頁) これからも共に続けたい大切な活動のひとつです。

大学では創立四〇周年を記念して、本年より一期生から順次毎年卒業式への招待と、十一月三日の文化祭に同窓生のホームカミングデーを企画していただいております。この機にミニ同期会を添えられ、ご遠方の方もお里帰りを兼ねてご出席参加下さい。

広報『マリアン』には来春までの様々な行事活動情報を掲載しております。人生は出会いで創られます。縦横に出会いの輪を広げ、与えられたタレントや経験を分かち合うノートルダム・スピリットを絆に、母校を支えつつ、あたたかいノートルダム・ファミリーを築きましょう。

祝 御 入 会

本年度は、英語英文学科二二六名、生活文化学科一三二名が三月十四日に御卒業になり、同時に第三十八期の同窓会員となりました。

御入会を心より歓迎いたします。
現在までの卒業生総数は九六二五名です。
学年委員は次の方々です。

小木麻里子(英) 稲田智彌子(英)
武田 安子(生) 辻 香菜子(生)

目 次

人生は出会いで創られる…	会長 本多ゆり	1
40周年を無事に終え、新たな旅立ちへ	学長 梶田敏一	2
四十年目の決意……	Sr.セレーン松本	2
大学院人間文化研究科(応用英語専攻)の開設……	副学長 相良憲昭	3
国際交流ボランティア……		3
第38回 総会のお知らせ……		4
祝周年……		4
同期生だより……		5
第37回 総会報告……		6
会計報告……		7
セントルイスの管区長より御礼の手紙		7
支部だより……		8
国際交流マリアン奨学基金寄付者名簿		9
同窓生短信……		10・11
アクティビティに参加して……		12
お知らせ案内板……		13
マリアンハウスのお知らせ……		14・15
同窓会アクティビティーご案内……		16

母校の英語名と学章が変わりました
(二〇〇一年十一月一日)

大学名 京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

40周年を無事に終え、 新たな旅立ちへ



学 長
名誉顧問
梶田 穀一

昨年12月、創立40周年記念式典と国際シンポジウムを盛会のうちに終えることができました。同窓生の方々の御支援、御協力に深く感謝いたします。この4月からは、40周年記念館（仮称）の建設がユニソン会館前で始まります。廻りの景観に配慮して地上1階・地下1階の予定です。年末に竣工したら、地下部分を全部使って心理臨床クリニックが開設される予定になっています。子どもさんの心理や発達の相談を受けて助言したり、グループワークやカウンセリングなどをやる施設になる予定です。

御協力いただいております創立40周年記念募金の方も、順調に進んでおり、本年2月7日現在、総額では二千五百万円を突破しております（うち同窓生二九八人の方から七二二万七千円が寄せられています）。後1年間、募金を続ける予定ですので、なお一層の御支

援、御協力をよろしく御願いたします。

いよいよ本年11月、大学祭の機会に「ホームカミングデー（母校に帰ってくる日）」がスタートし、これから毎年続けられていく予定です。年々変わっている母校の様子を皆さんに親しく見ていただきたいと願っております。万難を排していらしてください。

四十年目の決意



顧問
英文学科教授
Sr.セリン松本

大学は昨年、創立四十年の節目を越えました。一九六一年四月十日、完成したばかりの校舎（現在の本館南側と北側の一部）に、七名のシスターが、ふとん袋とトランクのみを持って鹿ヶ谷から移りました。それからのカ月、がらみどりの校舎の掃除、必需品の注文や買物に明け暮れて、開学の準備をしたのです。当時、大学の界隈は、郊外地で、バスは野々神町で折り返し運転、うどん屋が一軒、喫茶店が一軒、日用雑貨・食料品その他

何でも売っている便利屋が一軒あっただけで、あたりは一面の畑でした。緑といえどキャンパスの塀沿いに植えられたメタセコイアの苗木のみ、白亜の校舎は砂漠同然の広場にぽつんと建っていました。五月八日、第一回の入学式が、当時、唯一の大教室、三三番室（現在の学生食堂の南半分）で挙行され、茶色の制服を着た一四四名が、初心の決意を胸に文学部英語英文学科生となりました。

あれから四十年、大学は物理的にも内容面でも名実ともに充実発展の途を辿って今日に至っています。現在の大学をご存じない方は、今秋、開催予定の「ホームカミング・デー」に是非、来て見て下さい。

開学当初、誰が今の大学を想像し得たでしょう。恐らく、神様ですらご存じなかったかも知れません。いや、神様だけはこの四十年間、大学に学び、働く者の夢が実現するよう、暖かく見守り、必要な時に援助の手をさし伸べて下さっていたのに違いありません。

苗木が、見事に育ち地面にしっかりと根を張っても尚、天を仰いでいるように、卒業生の皆様、ノートルダムスピリットを今一度思い起こしてください。この精神を肝に銘じて、それぞれが置かれている場で、自分を更に育て、他に貢献するために、未来に希望を賭けて次の節目への新たな一歩を、母校と共に踏み出しましょう。

大学院人間文化研究科 (応用英語専攻)の開設



副学長
大学院研究科長
相良 憲昭

同窓生の皆さんには、日ごろから私どもの大学にお心をおかけいただきありがとうございますことに、衷心から感謝申し上げます。

さて、かねてから準備を進めてきた京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科の設置が、このたび文部科学省によって認可される運びとなりました。平成14年4月には、英語英文学科を基礎とする応用英語専攻が開設され、将来は他の3学科(生涯発達心理学科、生活福祉文化学科、人間文化学科)も、それぞれの専攻を立ち上げる予定をしています。

応用英語専攻は、外国語としての英語を学ぶ学部レベルの教育から脱皮して、英語を第二言語として自由に駆使できる、高度な職業人を養成することを目的としています。募集定員は1学年20名で、学部進学者だけでなく社会人の応募も歓迎しますし、また男子学生も受け入れることにしています。社会人が自分の勤務態様にあわせて学習できるように昼

夜開講制を採用しており、夜間および土曜日に受講するだけで所定の単位が取得できます。

学生は2カ年の履修ののち、修士論文を提出して「応用英語修士」の学位を授与されることになります。卒業後の進路として国際機関や国際企業、あるいは国際的な活動をおこなう非営利組織(NGO)などを目指す学生と、英語の専修免許を取得して専門性の高い教員を目指す学生とに、それぞれ異なった履修方法を指導することになっています。

学生は自分の知的関心や将来の計画に従って、専門演習やインディペンデントスタディーズを通じて、教員と一対一の学習を行う機会が多く与えられますし、また国連大学やユネスコなどのインターナシップ・プログラムに参加することもできます。

21世紀は生涯学習社会の時代だといわれています。同窓生の皆さんもキャリア・ディベロップメントのため、あるいは自己研鑽のために応募をご検討くだされば幸いです。以上の詳細については、本学英語英文学科事務室(075-7706-3661)にお問い合わせください。

大学院の設置に伴い、本学の英文名称を変更したこともあわせてご報告しておきます。新名称は「Kyoto Notre Dame University」で、ちなみに大学院の英文名称は「Graduate School of Humanities and Social Sciences」です。

末筆ながら、今後とも本大学の発展に一層

のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○国際交流ボランティア

十二月八日の四十周年記念式典に参列のため米国より、バルティモアのノートルダム大学学長ご夫妻、シンポジスト、シスター ミリアム ジャンセン、ノートルダム教育修道女会セントルイス管区長、シスター ジョアン ハンラハン他三名が来日されました。国際交流ボランティアは大学より依頼を受け、六日奈良、七日京都と御行をご案内致しました。紅葉が過ぎ静けさを取り戻した東大寺、春日大社、清水寺、二条城、金閣寺、竜安寺を心ゆくまで楽しまれた様です。七日夜には岡崎



来賓の皆様とボランティアの八尾さん(右端)奈良にて

の白河院で美しいお庭を眺めながら日本食に舌鼓を打たれました。奈良観光では奈良のボランティアガイドで活躍中の八尾真弓(19E)さんの見事な案内が大きな力となりました。今後共ボランティアの皆様のご協力よろしくお願い致します。

平成14年度

第38回総会のお知らせ

日時 5月26日(日) 午前11:00(受付10:30)

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」

地下鉄「国際会館」下車 TEL.075-712-1111

会費 7,000円(当日徴収) 子供は1,500円

(ベビーシッターなし)

「おしゃべり おしゃべり」トークショー

吉本興業プロデューサー 大谷由里子氏(21E)



同窓生のみなさま、いか
がお過ごしでしょうか。

N D大の同窓会も今年は38
回目を迎え、38学年の大勢
の卒業生が集う同窓会とな
ります。本年度は21期生が

担当しておりますが、昭和60(1985)年に
卒業して早17年、花の女子大生をエンジョイ
していたころを懐かしみながらも、N D大で
身につけた感性をいつまでも忘れられずには
いられません。きっと、私達の先輩や後輩の
みなさまも同じ気持ちのことと思います。

懇親会は21期生手作りの演出(学園祭のノ
リ?)で、アトラクションは、21期生誇るタ
レント、大谷由里子(松岡)さんの楽しいお
しゃべりトーク、みなさまを笑いの渦に巻き
込んでくれるでしょう。幅広い学年のみなさ
まに、来て見てびつくりの楽しいひとときに
なりますよう、ご出席を心よりお待ちしております。

同窓会が初めての方もお久しぶりの方も、
お友達とお誘いあわせて、大いに笑いがこぼ
れるこの集いに、是非ご参加くださいませ。

今年度担当 21期生

岸本 明子
森澤 祥子
的場菜穂子

☆大谷由里子プロフィール

奈良県出身、'85年ノートルダム女子大学英語英文学科卒業後、
吉本興業(株)入社。故郷山やすしのマネージャーを勤め、
宮川大助・花子、若井こづえ・みどり売り出す。

'88年結婚のため退社し、翌年長女出産

'90年フリーのプロデューサーとして独立

'91年(株)プランニングオフィスSMS設立(企画会社)、

代表取締役就任、現在は同社顧問

'98年吉本興業とジョイントし「吉本リーダーズカレッジ」を
立ち上げる

'00年6月吉本興業にプロデューサーとして復帰。

地域活性、人材活性、企業活性のコンサルタントを勤め
るかたわら、マネージャー時代の経験をもとに、講演や
研修をこなしている。

3期生

35周年記念同窓会のお知らせ

私達も大学を卒業して35年がたちました。
久し振りに同期会を開催したいと思います。

日時 11月17日(日) 13:00より

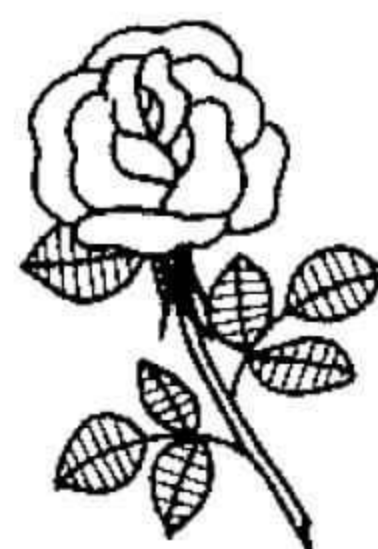
場所 ホテル日航プリンセス京都

TEL.075-342-2111

後程、ハガキでご案内を差しあげます。
一人でも多くの方々のご出席を楽しみにし
ております。

3期学年委員
篠崎加代子
関田 弘子

祝周年



35周年

30周年

25周年

20周年

15周年

3期

8期

13期

18期

23期

8期生

30周年記念同窓会のお知らせ

日時 6月頃(詳細は後日)

学年委員
五由出千晴
米井 慶子

『二期生』

三十五周年記念パーティー

大隅万佐子
堀江眞知子

九月二十八日に35周年記念同窓会を開催いたしました。すっきりと晴れた素敵な日に、海外を含める各地から54名の出席でした。京都ホテルの最上階からの眺望はすばらしくなつかしい京都を充分に堪能出来たことと思います。出席者によるお琴の演奏、フラダンスなどを楽しみ、二時間を笑いと共に過しました。二次会でも、話したりなかった友との会話があちこちで続き、楽しい一日を送ることが出来ました。私達の学年のニックネームを「六・六会」(1966年卒業)と決定しました。



俳句

○借景に比叡山を納む秋高し
○再会や洛北の空澄みに澄み

二期 芦澤 元子

『七期生』

卒業三十周年学年同窓会

石川多寿子
北村 孝子
野川 道子

平成十三年九月九日(日)に卒業三十周年学年同窓会を四条烏丸のホテル日航プリンセス京都で開催いたしました。

当日は、台風接近の予報があり、欠席者が出るのではと懸念されましたが、幸い、予定の三十七人、笑顔で出席いただきました。

正午から二時間の会は、お互いの近況報告から始まり、学生時代のことや最近の話題に各テーブル花が咲き、記念撮影をして、瞬間にお開きとなりました。

二次会は、大学のご好意で母校を訪問し、母校の発展に目を見張り、ユニソン会館、新しいお御堂、また昔のままの教室を懐かしく回り、シスターセシリアに案内していただいた寄宿舎では、当時寄宿しておられた方達が、殊のほか感慨深げでした。

午後五時頃、夫々健康に注意して、次回同窓会での再会を約束して、名残を惜しみながらの散会となりました。



『十二期生』

卒二十五周年の集い

北澤みよ子
中井 恭子

昨年、六月二十三日、第二回同期会を開きました。梅雨空のもと、各地から三十一名の出席でした。卒業後、二十五年ぶりという方達もいらっしゃいましたが、皆、お顔はそのままで、気持ちすぐに学生時代にタイムスリップ。毎日は家事や仕事で忙しくても、この時ばかりは日常を忘れ、「花伝」さんの目にも舌にも美味な懐石料理を頂きながら、楽しくお喋りに花を咲かせることが出来ました。

次回は五年後の三十周年を予定しておりますが、「五年も待てないわ。」と仰言っていた方。毎年の総会では是非誘い合せて再会しましょう。元氣にお会いする日を楽しみにしております。



第37回 総会報告



二〇〇一年
五月二十日、
第三十七回同
窓会総会が、
京都宝ヶ池プ
リンスホテル
で開催されま
した。十五名
のシスター、
先生方をお迎
えし、同窓生

一〇七名が、集いました。

最初に帰天なさった方々のご冥福を祈って
黙祷を捧げ、会長挨拶、活動報告、会計報告、
新年度予算案、各支部活動報告、新会長の挨拶
と行われました。名誉顧問梶田学長、顧問
のシスター・セリオンにご挨拶をいただきま
した。そして手芸ボランティア活動作品、同
窓会員寄贈品のバザー、大学祭での収益金を
「インドへ友愛の手」と「ネパールサポート」
へ教育援助金として各々十九万円贈呈し、総
会の部を終えました。

懇親会では、二十期生企画による加藤ます

え氏のカンツォーネのミニコンサートが行われ、私達にとって懐かしく、親しみのある曲に楽しいひと時を過しました。恒例のミキモトのくじ引きに引き続き、マリアンコーラスの人達と共に全員で学生時代を想いつつ合唱を楽しみました。学歌斉唱後、盛会のうちに終りました。役員一同心から感謝申し上げます。



平成十三年度 活動報告

五月

第三十七回総会（京都宝ヶ池プリンスホテル）
総会終了後関東、中部支部委員との合同懇談会
手芸ボランティア活動開始
各種クラス春期開講

六月

教育講演会（コミュニケーションのとり方）マリアンハウス
ガラスリッチェン講習会

七月

日文研 三室戸寺 平等院 拝観
合同委員懇談会
（本部役員、マリアンスタッフ、学年委員）

お作法（花の礼）講習会
日文研 勧修寺 隨心院 拝観
九月
日文研 京の町屋

十月

各種クラス秋期開講
マリアンハウスオープンデー（バザー、喫茶、作品展示）
マリアンスカラシップ2名に貸与
日文研 奈良方面

十一月

関東支部総会出席（十一月十一日）
大学関係物故者追悼ミサ参加
大学祭バザー参加（チャリティバザー寄贈品販売）
料理講習会
日文研 大覚寺 広沢の池

十二月

大学40周年記念式典参加・来賓接待
ノートルダムクリスマス（ユニソン会館）
フラワーアレンジメント講習会
ガイスラー教授追悼の集い出席
一月 各種クラス冬期開講
二月 日文研 長浜盆梅展見学
三月

第38回大学卒業式列席
4 回生へ同窓会新入会員への説明会
平成13年度会計決算書作成
ケーキ作り講習会
日文研 東洋陶磁美術館見学

四月

平成14年度大学入学式列席
平成14年度予算案作成
会報マリアン第32号発行
総会準備、役員会通算20回
コンテナガーデン（お花の寄せうえ）講習会
日文研 南座歌舞伎

★学年委員の変更

4 E 稲葉 芳子
4 E 菓子田道子
8 C 五由出千晴

注…日文研—日本文化研究会

平成12年度会計報告 収支報告

自：平成12年4月1日
至：平成13年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	33,117,191	総会費	600,000	419,207
終身会費	9,210,000	マリアンスカラシップ	1,200,000	1,193,000
預金利息	38,124	マリアン発行費	1,700,000	1,587,055
マリアンスカラシップ返済金	680,000	卒業記念費	600,000	510,000
クラスアクティビティ参加費	145,000	クラスアクティビティ	1,000,000	650,000
		支部活動・援助費	550,000	382,500
		会議費	500,000	184,454
		交際費	250,000	137,239
		通信費	300,000	170,230
		事務費	300,000	122,660
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		寄付(国際交流事業基金)	3,000,000	3,000,000
		名簿発行費(補助分)	3,000,000	1,635,219
		小計	15,000,000	11,991,564
		次年度繰越金		31,198,751
合計	43,190,315	合計		43,190,315

左記の通り決算報告申し上げます。

会計 小笹 依子
藤田 祥子



本決算を審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計監査 人長久巳子



平成13年5月20日

SAINT RITA SCHOOL
260 Shepherd Avenue
Brooklyn, NY 11208

Dear members of Notre Dame Women's College Alumni Association

We have received the donation of \$ 800.00, which represents a spontaneous collection taken by your association during a visit to Japan by Sister Joanne Hanrahan, SSND. We will be using this donation to help pay the tuition of Elias, a seventh grade student in our school whose mother was killed at the World Trade Center on September 11, 2001.

(中略)

On behalf of Elias and his grandmother and the entire Saint Rita School community, I thank you and your association for your very gracious gesture of sympathy, support and good will.

(後略)

Sincerely,

William Geasor

William Geasor
Principal
January 30, 2002

米国テロ事件被害者への義援金は、創立記念式典に出席されたND教育修道女会セントルイス管区長Sr.ジョアン・ハンラハンに託され、一被害者遺児の学費に当てられることになりました。遺児の小学校校長より上記のような礼状が届きました。

手芸ボランティアから

岡 和

前回の広報誌「マリアン」で、手芸ボランティアの心細い状況を讀まれて、その後次々と問い合わせの電話をいただき、新しくメンバーになってくださる方が増えました。今後の活動に希望が持てます。自宅で作って送ってください方も増えて、十月のマリアンハウスオープンデーにはバラエティに富んだ数々の作品を並べることが出来ました。オープンデーだけでなく、総会や関東・中部支部の同窓会などでも販売させていただき、多くの方々にも協力収入は、本部役員

や有志の方達のオープンデーでの物品販売や喫茶などの収入と合わせて、毎年インド・ネパールの教育活動支援金にさせていただいています。又、昨年暮には、九月十一日の事件の義援金として米国とアフガニスタンへ、幼稚園設立の支援金としてネパールのイエズス会へも送らせていただきました。これからも皆様のご協力をお願いします。

寄付金の内訳

米国テロ事件への義援金

\$ 800 (一〇一、三二〇円)

アフガニスタン救済への義援金

五〇、〇〇〇円

ネパールイエズス会へ

四八、〇〇〇円

支部だより

関東支部 関東支部長 芝 桂子
(12C)

学生時代を懐かしんで

昨年十一月十一日に関東支部では支部総会・懇親会を全日空ホテルで開催いたしました。例年よりも幾分出席者は少なく七十名ほどではありましたが、梶田学長、相良副学長、シスターセリーン、シスターメリーアン、シスター小久保、米田泰子教授をお迎えし、また、本部からも本多会長をはじめ、四名氏の委員の方々にもご出席いただき、短い時間ではございましたが、私たち卒業生にとりましては若い日々を思い出しながら楽しい一時でした。特に梶田学長より来年度より大学院の開院のことや、米田先生より大学四十周年事業のことなど、私ども卒業生としても母校の発展の様子などお伺いすることができ、大変うれしく思いました。また、二、三人のシスターからは今の学生の様子など時代の変化とともに学生のあり方など考えるよい機会でございました。皆様のご協力で温かい雰囲気の間窓会となり、ご出席いただいた方より喜びのお声もいただき感謝いたしております。この二年間十二期生が担当させていただきましたが、

この三月に十三期生へバトンタッチさせていただきます。いろいろと行き届かない点ございましたと思いますが、皆様ありがとうございました。なお次期役員の方は左記の通りです。

関東支部長 中塚 順子さん
会計 小笠原由美子さん
会計 田中 真寿美さん

中部支部 副支部長 久保田恭子
(5E)

「物から心の時代へ」

中部支部では今年度の活動テーマを「物から心の時代へ」とし、初めての試みとして講演会を開きました。六甲病院緩和ケア病棟チャプレン沼野尚美様に「心にふれる人とのかわり」と題して講演していただきました。中部地方の方々に、京都ノートルダム女子大学をもっと知って欲しい、開かれた会でありたいとの願いから新聞社に講演の案内の掲載を依頼しました。当日、同窓生の参加は期待した程ではありませんでしたが、新聞を見て一般の方が、車椅子の方が、参加して下さいた事はとても嬉しい事でした。

講演で沼野様は、緩和ケア病棟の患者さんやそのご家族との関わりの中から深刻な話題を明るく話して下さい、私達にも生き方を見つめ直すよい機会となりました。講演後の茶

話会では、終末医療に関する質問があいつぎ関心の高さが、伺えました。一般の方の会費及び寄せられた善意は「インドへ友愛の手を！」に寄附させていただきました。少人数ではありましたが、アットホームな雰囲気の中にも、有意義な集いを持つ事が出来ました。杉浦支部長のもと残された任期を役員一同精一杯つとめたいと思っています。

九州地区 山泉 恵子
(14E)

九州在住の同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。

京都を離れて間もない方も長い方も京都ノートルダム女子大学という共通のベースを持っている卒業生として一度集まり、京都での学生生活を懐かしみ、新しい友人に出会い、親睦を深めませんか。実は前回の同窓会名簿が届きました95年に、熊本市周辺の同窓生七名が集い昼食会を開きました。ほとんどの方と初対面でしたがすぐにうちとけ、楽しいひとときを過ごせました。お仕事や子育てにお忙しい事と思いますが京都の同窓会は無理でも九州でなら出席してみたいという方は左記までご連絡下さい。場所は九州各地から交通の便のよい熊本を考えており、日程は決定次第ご連絡致します。

14E 山泉恵子（九州在住歴13年）

国際交流マリアン奨学基金 の募金のお礼とお願い

大学創立40周年を記念して、留学生援助のために設立いたしました国際交流マリアン奨学基金に多数の方々にご賛同、ご協力いただきました。誠に有難うございました。お陰様で平成14年3月31日現在一、三一七、〇九九円のご寄付を頂いております。

お寄せいただきました基金を出来るだけ有効にと、大学とも相談いたしました。今年度は新二回生に授業料の補助として一人当たり二万円を差し上げる事に致しました。

この奨学基金が母国を離れて何かと不自由な環境で勉学に励んでいる留学生達の一助となりますよう、今後共、お一人でも多くの方々のご協力をお願い申し上げます。

一口 三、〇〇〇円
郵便振替口座番号

〇〇九八〇一五一五七七二三

以下の方々に御寄付いただきました。(順不同敬省略)

■一期生	川勝 宏子	石原 圭子	阿部 葉子	新家比佐子
安田 光代	岡 明津子	所 明子	白井 君子	藤田 祥子
平石真由美	山本 秀子	浦本 景子	平波 奉子	大窪 富子
北原暉代子	吉川 照子	久萬田澄子	大窪 富子	
中島 克子	岡本百合子	加藤眞理子	浅野 万里	
■二期生	芦澤 元子	本多 ゆり	瀬戸美奈子	中村 明子
上田千鶴子	大隅万佐子	大塚 彩子	服部 万里	
横川 昭子	森本 朗子	栗原 英子	永根 洋子	
池上 信子	中原 珪子	長谷川まゆみ		
■三期生	秋山 昌子	閑田 弘子	村田 緑子	高木 里美
■四期生	林 満智子	篠崎加代子	田中 宣子	松本美佐代
杉浦 佳子	牧野 禮子	志村 道代	桜井美智子	
安達 昇子	藤岡百々子	林 いく子	北井 洋子	
大田喜代子	松本 敦子	家村 悦子	藤岡 和子	
岡 和	藤田 美子	川嶋 昌子	渡辺 裕子	
■五期生	遠藤三枝子	倉藤 睦子	林 美佐江	松本 多美
阪村 道子	佐藤 蓉子	矢島 友子	久保田慶子	
■六期生	田畑八千代	本原 靖子	西山 禎子	内藤マリエ
笠原 佳子	原科美那子	土坂比呂子	武田三千枝	
■七期生	中西 純子	松本 啓子	芝田満寿美	岡田美恵子
■八期生	小林 宗子	三山 和子	高嶋 明美	人長久己子
坂 綾子	浜岡 恵子	内田 裕子	古川 澄子	廣上 康子
■九期生	森田 夕子	森 美都子	本庄いづみ	
■十期生	岩田 典子	久下富久子	宮内扶美子	飯村 千晶
■十一期生	西 康子	和泉 靖子	小川美恵子	西川 史子
■十二期生	稲垣 晴代	管納実千代	相良 尚子	榎林由利子
■一三期生	志岡 珠江	小林 圭子	須田 朗子	南 喜代子
■一四期生	祖川 史枝	塚脇 朝子	千田 重	橋本 友子
■一五期生	菊畑 栄子	植松 雅子	中野 淳子	山本久美子
■一六期生	吉田有満子	石本 智子	堀 敦子	津崎久美子
■一七期生	杉江三和子	清水 典子	増川貴美子	木全 千秋
■一八期生	■一九期生	服部美緒子	久保さゆり	藤井美和子
■二〇期生	熊野 啓子	関口 広美	三 明	山崎 孝子
■二一期生	河村 久子	菅原 玲子	市瀬 有子	大久保士子
■二二期生	小原 悦子	古川 寛子	井上 奈都	浦井美和子
■二三期生	田村さとみ	宇都宮晴子	井上 智子	三代由美子
■二四期生	中山 雅美	本波 佳由	大平佐知子	中谷 靖
■二五期生	横山 恵子	桑原 衣里	小林 葉月	中村 美穂
■二六期生	尾崎 真実	垣内 緑子	田村裕美子	白畑利佐子
■二七期生	■二八期生	山城 蓮美	梅岡 美子	笹川 晶子
■二九期生	■三十期生	渡邊美千代	森 昌子	
■三一期生	■三二期生	宮下 暢子	江川 晶子	神戸 正子
■三三期生	浅井 寧子	中元 紀子	江川 晶子	
■三四期生	高木 恵美	西山 典子	永山 良子	猪股さつき
■三五期生	■三六期生	高田 眞紀	服部 香里	柳井美由紀
■三七期生	■三八期生	佐藤有紀恵	高畑 聖子	

同窓生短信

忙しさの中で

池村奈津子(3E)



ND大を卒業して早くも34年になりました。母校に足を運ぶことはほとんどなくなり、教職員、卒業生のみなきまには大変ご無沙汰をしております。ひとたび仕事を辞め子育てに専念(?)し、14年前から再び司書として京都大学で研究・教育を支える仕事を続けています。学生に囲まれているせいか、いつまでも学生気分が抜けず、年齢を忘れて極楽とんぼのような生活をしていましたが、ご多分にもれず、老義父母の世話などが加わり、時間を切り刻んでの日々を送っている昨今です。

仕事や介護を右手に、子ども文庫関係、子どもの本の読書会、地域での文化発信(演劇や音楽の取り組み)、京都の図書館運動などを左手に、忙しくもあり楽しくもありの起伏に富んだ毎日です。そのボランティア活動の一つとして、数年前から「吉田日本語学習友の会」の事務局に関わっています。この会は主に京都大学で学ぶ留学生と日本人が語学学習を通して交流していく場で、日本語を教えたり、ハイキングに行ったり、留学生が自国のことを発表する場『世界からの手紙』シリ

ーズに取り組んだり、さまざまなイベントを行っています。4月からその延長として、週一回、日本語教師養成講座に通っています。そこで「あら、奈津子さん!」と懐かしい同窓生から声をかけられました。二人とも一番後ろの席で半分居眠りをしながらも休まず講座に出る仲間となり、時折、彼女から大学の様子を知ることになりました。この同窓会短信もそういった偶然の出会いからお引き受けすることになりました。

卒業してから、仕事を含めて英語に接することが多くなり、在学中の不勉強が悔やまれますが、「生涯学習」、いくつになっても学ぶことは楽しく、仕事やボランティア活動を通して大いに社会と関わり、いろいろと学ばせていただいています。退職すれば時間的な余裕も出てきます。母校の充実した講座に参加し、在学当時の不勉強を挽回したいものです。日々の忙しさに流されず、時間を有効に使い、豊かな生き方をしたいと思いますが、先ずは健康第一。みなさまもどうぞお体ご自愛の上、いつまでもお元気でお過ごし下さい。また、どこかでお会いできることを楽しみにしています。

「安泰寺からの便り」

宮浦 令子(11E)



安泰寺は兵庫県但馬地方にある禅のお寺です。境内地を取り囲む山一つ越えると日本海

が広がり、冬には寒波が吹き溜って雪が2mを越える位にまで積もるような処です。檀家を一切持たないで田畑で無農薬のお米や野菜を作る自給自足の生活をおくっています。

京都にあつた頃からたくさん修行者が門を叩いたそうですが、この辺鄙な山奥に移転してから日本各地から世界のあちらこちらから訪れる人の絶えることはありません。

「仏教」「お寺」と言いますとお葬式や法事等が先ずイメージされがちですが、安泰寺を訪れる人、とりわけ外国からの修行者は自身生き方、人生の問題として「仏の教え」を学び修行したいと出家得度される方が多いのです(イタリアからはカソリックの神父様が来日され本堂で御ミサを受けたこともあり、南米コロンビアからは内戦で荒廃した母国の人の心を救いたいと修行に來られています)。私の主人は「堂頭さん」と呼ばれてその人達と坐禅を中心とした修行生活を送っています。私は修行者の皆さんが着けられるお袈裟等を縫う日々ですが、外国から來られた方など日常の生活の小さな事にも困られる事が多く、常駐の万困まり事引受所みたいなものです。夏は一万株の青い紫陽花、秋は錦繡の紅葉に守られる美しい山内ですが、雪に閉ざされるこれからは、薪ストーブを囲んで各国の珍しい話を聞かせてもらったり、お国自慢の手料理を習ったり、私のこちらでの生活の楽しみの二つが始まる季節でもあります。

(平成十三年雪の師走)

徳島から感じること

本田 啓子(16 C)



自宅の二階から眉山びざんの美しい紅葉を見ながら認しんめております。しかし京都の山々はまたそれ以上に眩いのではないかと想像しております。

長女は地元の私立薬学部^に在籍し、想像以上のハードなカリキュラムに泣かされております。思い起こせば私も約25年前、英会話に卒論準備などに追われた日々とオーバーラップし、非常に懐かしい思いがいたします。この長女はマイペースで親の言うことを聞かないので私たち親はいつも泣かされております。しかし10年間暖めて生まれた二女は素直で、ちよっぴり要領もよいので家族のマスコットのまたムードメーカー的存在です。何か手に技術をつけさせなければという義務感はなくただ存在だけで周りが幸せになれるような子どもです。

親の介護のこと、子どもの進学のこと、家のローンのこと、町内の村姑との対策、顔のしみの隠し方など、美貌を邪魔するような事が多いのです。しかし私の辞書には楽とか安易とかしかない相変わらず向上心なしののんびりした生活です。

京都に比べ徳島は名所旧跡は少なく阿波踊りと鳴門の渦潮、大塚美術館、祖谷溪谷ぐらいいしかありません。しかし水も大気もまだま

だきれいで食べ物も美味です。京都からは直行バスで約三時間です。是非橋を渡って遊びにいらして下さい。

最後になりましたが、マリアンに載せていただきましたこと、非常に光栄に誇りに嬉しく感じつつ筆を置きたいと思います。

ストーリーテリングと出会って

三浦 智子(21 E)



ストーリーテリングという言葉をご存知でしょうか。「素はなし」といって、絵本や紙芝居などの道具を使わずに、おはなしを覚えて、

聞き手の顔を見ながらおはなしを語るものです。

私は、十一年前の春、津市図書館でストーリーテリングの講座を受講しましたが、その時の感動と衝撃は、今でも忘れられません。耳で聞いた言葉が、私の頭の中におはなしの世界を作り出し、それぞれの場面が絵になって目に浮かびました。この感動を共にした仲間が集まり、ボランティアサークルを作り、勉強をしながら、活動を始めました。今では、津市図書館・三重県立図書館で、定例のおはなし会をし、津市近郊の保育園・幼稚園・小学校にもおはなしを届けに出かけています。字を読む読書も楽しいですが、耳で聞くお話は、さらにもっと楽しくなったり、同じ話なのに、語り手によって雰囲気が違うこともあり、なかなか奥深いものです。目からの情

報に頼らない楽しさ・ゆったりとした静かな世界を、子供達と共に楽しみながら、活動を続けています。

ストーリーテリングと出会い、児童図書館の司書になる夢が、違う形でかなったようで、充実した毎日です。いつかおはなしおばあさんになれるように、語り続けていきたいと思っています。

研究者になることを決めてから

辻本乃理子(30 C)



ノートルダムを卒業して、あつという間に8年が経ってしまいました。卒業後は、1年間OLをしましたが、再び学ぶことを希望

し、奈良女子大学の門をたたきました。現在は、博士後期課程に在学し、博士論文執筆中です。初めはノートルダムとの違いに戸惑いましたが、今ではすっかり慣れてしまい、学生の中でもお局様の存在になっしまいました。

私の研究は、ダム時代から変わらず『緑』をテーマにしています。まだ学生ということ、世間では気楽な人と思われがちですが、博士課程となると、そうとも言い切れません。時間的な融通は利きますが、授業料を払って仕事をしているという感じです。論文執筆以外にも、外部での研究会や学会発表で他府県へ出かけます。最近の出来事では、国際会議

での研究発表の機会が与えられ、台湾で発表してきました。

21世紀の始まりの年に、私自身に大事件がありました。11月にご縁があつて結婚し、生まれ育った京都を離れました。指導教官から『家庭と研究の両立』を心配されています。博士課程の学生には、子育て真っ最中の人や、子育てを終えた女性が多く存在します。まさか、今後自分も家事や育児に追われながら研究活動をする事になるとは!!人間なにか起こるか分かりませんね。ノートルダムの卒業生の皆さんは結婚されたら家事は女性がすべてされているのでしょうか?奈良女は家事分野の価値観を持つ人がほとんどです。洗濯機のスタートボタンに触れたことがない人と結婚し、周囲の人に心配されましたが、予想に反して参加してくれています。結婚前の教育がよかったのか、はたまた私が怖いのか?!



短歌

○一人居の母の住みある嵐山
年あらたまり淡雪ひかる

○八重咲きの十葉の花咲きをらむ
うまきもの買ひて母をおとなふ

二期 西本 靖子

アクティビティに参加して

「聖書は古くて新しい」
聖書クラス

林 いくこ (4E)

平成十三年より場所が大学のユニソン会館同窓会室に変わりました。シスターセリーンの大変分かりやすい指導の下に毎月一回聖書を読んでいます。日頃雑事に追われて気ぜわしく暮らしている中で、いつとき心を落ち着けて聖書の内容に目をむけられる機会が同窓会活動にあるのはノートルダムならではのこころだと思います。

聖書というと大昔の外国の話と思いますが、毎回シスターが用意して下さる箇所を読みますと、今の私達の日常生活に共感できる部分がとても多いことに驚かされます。私たち誰にでも悩みや悲しみがあり、また誰もが思いがけない人生を歩んでいるのですが、このことも聖書を通じて見直すことができます。和やかで心安らぐクラスです。お気軽にお越しください。

華道サークル

吉田喜代子 (21E)

昨年三月から、マリアンハウスで、第二水曜日に生け花教室を行っています。講師は、四期卒で現在も小原流の家元教授として活躍されています大田先生です。華道の小原流は、伝統的な生け花ですが、大田先生は初心者の方にもわかりやすく御指導下さっています。基本的な生け方のカラーコピーを参考にし、その季節に合ったお花の中から、和風に

も洋風にもアレンジできるセンスです。決して、見苦しくなく、お玄関や、リビング、ダイニングのテーブルの上に少しお花を飾りたい方や、日常の暮らしの中にお花をとり入れて、美しくやすらいだ空間づくりを演出したい方に喜ばれています。また、季節の行事にちなんで七月の祇園祭りには松扇を生け、十月の重陽の節句には菊の三種生けを生けるなど、日本の四季を尊び楽しむ事も教えて頂きます。月に一回のおけいこはとてもアットホームな雰囲気です。ので生け花を勉強すると同時に皆さんとご一緒に楽しい時間を過ごせる事でしよう。

マリアンコーラス

岩田真理子 (12C)

一昨年に同窓会のコーラスサークル「マリアンコーラス」の活動が始まりました。

私は前号のマリアンに案内が出ているのを見て出かけていきました。会場はNDユニソン会館地下音楽練習室です。初めて会う方々ばかりでしたが、学年を越えてNDの卒業生という共通点があるので、教室はアットホームな雰囲気です。現在大学で音楽を教えているらっしゃる東朝子先生の御指導で、軽いストレッチ、発声練習、歌唱というメニューです。キリスト教の大学らしく聖歌の美しい和音と女声合唱曲の明るい美しいハーモニーを楽しみ、二時間があつという間に過ぎていきます。運動が苦手な日頃身体を動かしていない私にとっては、歌を歌うこともかなりエネルギーが消費され、身も心も鍛えられるようです。みんな楽しく歌えば身も心も軽くなる。皆様お誘い合わせの上、一度お出かけ下さい。

お知らせ案内板

ホームカミングデイのご案内

創立40周年記念を機に、卒業生の皆様にキャンパスにも足をお運びいただき、発展の様子を見ていただこうと新しい企画が生まれました。一つは卒業式に順次お招きすること、一つはホームカミングデーの開催です。これは主催者(大学)、同窓会、ND祭実行委員会の三者が集まってプランを練り、同窓会総会とは一味違った母校訪問を楽しんでいただくものです。

開催日は平成14年11月3日(日)、場所は大学ND祭会場と決まっています。多数のご参加をお待ちいたします。

大学からはシスター松本が相談役として、卒業生で本学教員の吉田智子(20E) 向山泰代(21C) 元好朗子(21C)の3名が委員として選出されました。

詳細は、大学ホームページ
(<http://www.notredame.ac.jp/>)
でもお知らせする予定です。



お知らせ 卒業式への御招待

大学創立40周年を記念して、平成14年より第一期生から毎年一期ずつ卒業生の皆様を卒業式に御招待することになりました。

その折には、ミニ同期会でもなさってお楽しみください。

京都ノートルダム女子大学
(来春は2期生が招待されます。)

ニュース!! 文化プログラム関東で初登場

関東の同窓生皆様のご希望にお応えして
文化プログラムを下記の通り計画いたしました。

グラスリッチェン

コーヒカップ、ビールグラス、ワイングラス等にダイヤモンドペン一本で彫っていきます。仕上がりが高級感にあふれ、音もごみも出ません。

日 時：H.14. 6.14(金) 1:30—3:30
場 所：東京青学会館 Tel.03-3409-8181
地下鉄表参道駅下車徒歩5分
講 師：宮崎純子先生(7E)
会 費：3,500円
申込先：勢一令子(関東支部会計、12C)
担 当：京都ノートルダム女子大学同窓会マリアンハウス運営委員 栗原・服部
※尚、参加ご希望の方は準備の都合上 **6月8日(土)**
までにお知らせ願います。

本部より
御協力お願い!
★オープンデー
(10月24日(木))・
チャリティ・バザー
の為の寄贈品
をお送り下さい
送り先・問合せ先
マリアンハウス
TEL・FAX
075-701-9149
〒606-0015
京都市左京区
岩倉幡枝町628
担当 大塚(2E)
杉崎(5E)

国際交流ボランティア
*週末ホストファミリーをしてみませんか。
連絡先 マリアンハウス
TEL(075)701-9149
国際ボランティア係担当 白井(1E)・小亀(3E)

サークルのお知らせ

サークル活動について

サークルはクラス発足までのテスト期間の講座です。
参加者と本部とで検討の後、次年度よりクラスとなります。

マリアン・コーラス

ソプラノ・メゾ・アルトの三部構成
女性合唱曲を中心に
賛美歌・ゴスペル他を
歌います。

(発声準備のストレッチ体操
発声練習・歌唱指導)

講 師 東 朝子先生

場 所 ユニソン会館B1
音楽練習室

日 時 毎月第3木曜日
10:00~12:00

8月、9月、3月はお休み

責任者：門 道子(10C)
北澤みよ子(12C)

フランス語

入門・初級者のための フランス語講座開講

フランス語やフランスの文化に関心をもっておられる卒業生のために、やさしいフランス語講座を始めます。

講 師 相良憲昭先生(副学長)

場 所 マリアンハウス

日 時 毎月第1・第3金曜日

10:00~12:00

5月開始

責任者：片桐 比佐(3E)

マリアンハウスオープンデー!!10月24日(木)

同窓会では、インド・ネパールの子供達に少しでもお役に立つ事が出来ればとチャリティーバザーを中心に毎年10月第4木曜日をマリアンハウスオープンデーとしています。特にボランティアの手芸品、卒業生有志による手作りケーキ等は大好評です。その他寄贈品、グリーンの鉢物の販売があります。役員一同御来場をお待ちしております。ボランティアでは手作り作品のお手伝いをしていただけの方を遠近問わず求めています。連絡先はマリアンハウスまでお願いします。



マリアンハウス創設十周年によせて

中島 克子(1E)

第一期生が本学最初の同窓生となった一九六五年以来同窓会館を持つことは卒業生の長年にわたる大きな夢でした。それから約四半世紀後、今から十一年前の一九九一年に、当時の学長Sr.メリーマイケル田代から顧問のSr.セリオンを通じて岩倉にある大学所有の土地の一部(約百坪)の上に同窓会館を建ててはどうかという申し出をいただいたのです。

早速同窓会長、副会長と、大学側から指名を受けた京都在住の一期生の計八名が「同窓会館設立委員会」を発足させ、約一年間の建設準備期間を設けて立地条件の検討、不動産所有権の確認、建築費用調達の算段、同窓生の希望や意見の収集作業等々を経た後ようやく翌九二年三月、着工にこぎつけました。

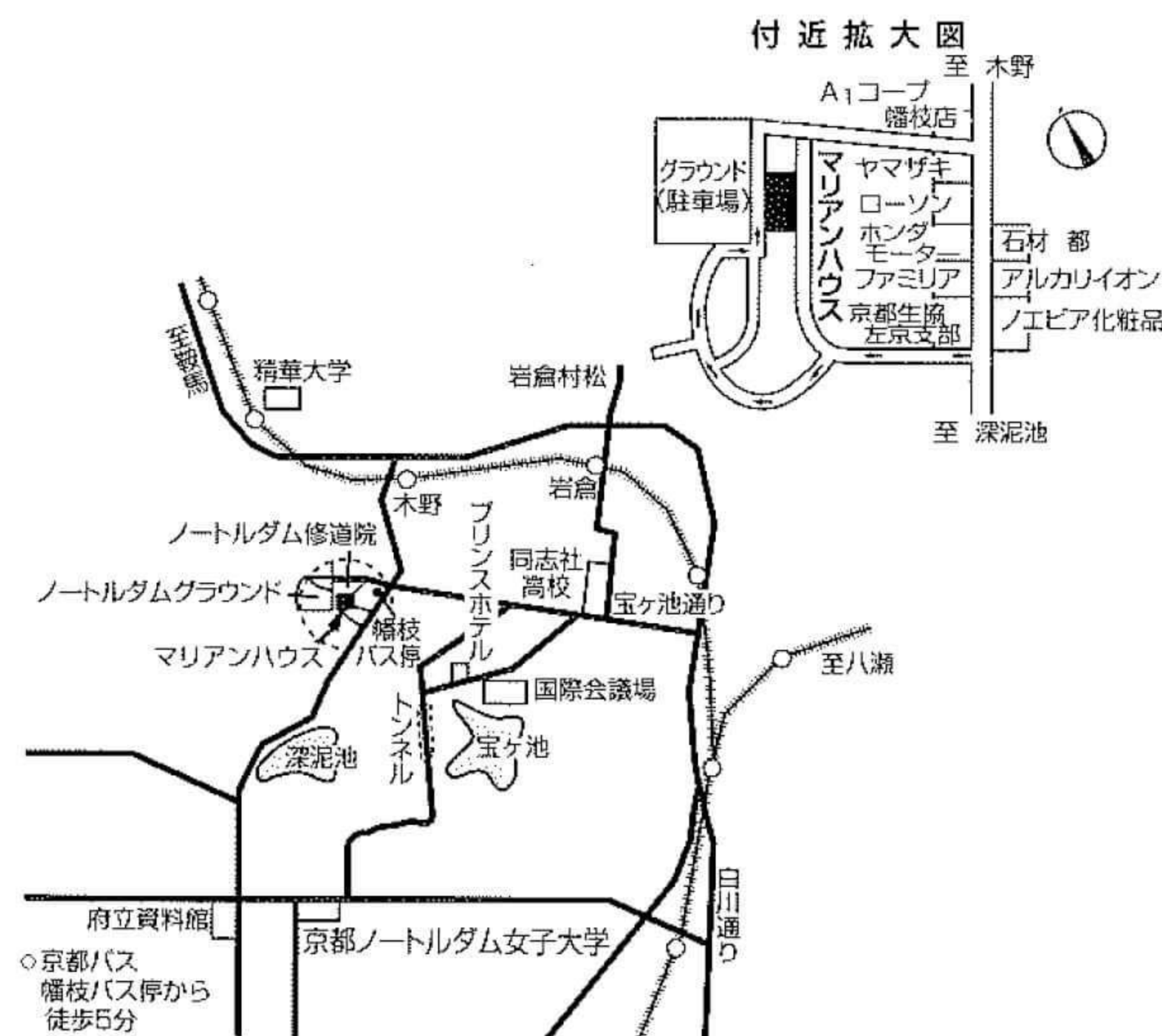
総工費のうち土地は大学からの無償貸与に頼り、建物の本体費用約五千万円は同窓会積立金から拠出し、外構及び設備費用のために、千五百万円を目標額として寄付を募ることにしました。同窓生はじめ関係者の御協力により約千四百万円余が集まり、又様々な物品の寄贈にも恵まれて、念願の同窓会館が実現したのです。

同窓会は法的には「権利能力無き団体」というものであり不動産所有が認められないので、建物は大学に寄贈し、大学の「生涯教

育棟」として登記され同窓会へ無償貸与されるという正式な契約が結ばれています。

またマリアンハウスという名称は初代学長Sr.ユージニアが命名された同窓会館「マリアン」に因んだものでSr.ユージニアに対する敬愛と思い出の記念にもなっています。

以上マリアンハウス誕生の簡単な歴史を記録も兼ねて綴ってみました。岩倉の閑静な住宅街の一角にあるマリアンハウスが、今後ますます発展してゆくべき我々が同窓会の活動力の源である友情と信頼と奉仕の精神を育む場として多くの同窓生に利用されますように祈っています。



マリアンハウス 平成14年度文化プログラム予定表

月	日	時 間	プ ロ グ ラ ム
H.14 5月	28日(火)	10:30~12:30	“更年期の障害あれこれ” 講師:萩原暢子氏(ND女子大学教授) 会費:500円(先生を囲んでティータイム有り)
6月	14日(金)	1:30~ 3:30	関東にて文化プログラム開催 グラスリッチエン 講師:宮崎純子氏(7E) 会費:3,500円
7月	10日(水)	10:30~12:30	東京青学会館 ビーズ手芸 ブローチ 講師:河原林嘉子氏(ND女学院7期生) 会費:1,500円
9月	19日(木)	10:30~12:30	プロの添乗員。“その旅の楽しみ方” 講師:大喜多厚子氏(NHK京都文化センター講師) (阪急トラベルサポート添乗員) 会費:500円
10月	24日(木)	10:30~14:00	マリアンハウス オープンデー
11月	15日(金)	10:30~12:30	粘土で作るクリスマスの飾り 講師:森本純子氏(14E) 会費:未定
12月	6日(金)	10:30~12:30	お正月用しめなわ作り 講師:河原林嘉子氏(ND女学院7期生) 会費:未定
H.15 3月	7日(金)	10:30~12:30	京の和菓子作り“桜餅・他” 講師:澤田 彰氏(さわだ屋菓舗) 会費:2,000円
4月	11日(金)	10:30~12:30	押し花 講師:河原林嘉子氏(ND女学院7期生) 会費:未定

同窓会員同伴のビジターの参加も可

8月、1月、2月はお休みです。諸般の事情によりプログラムの変更があります。お問い合わせは栗原・服部まで



メアリー・イエニック氏講演
コミュニケーション講座、他人の話の聴き方
“Listening”

マリアンハウスでは少しでも多くの会員の方にご利用いただけるよう、いろいろなプログラム企画、クラスの開講などを考えて参りました。皆様の中には、まだまだお子様に手がかかる方、お仕事をお持ちの方、又家庭の事情や遠方である等などの理由で参加できない方もかなりいらっしゃると思います。今一度マリアンに記事されているプログラムをご覧下さい。そして、時間ができましたら是非ご来館ください。いつでもお待ちしております。

マリアンハウスも十周年を迎え、ますます皆様とともに歩んでいけるように役員一同一生懸命取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。またご意見、ご希望などがありましたらお聞かせください。

使用出来る日時

月、水、金 十時 a.m. ~ 三時 p.m.

但し、右記の日時以外でも相談に応じます。

休館日

三月二十日 ~ 四月十日

八月十日 ~ 八月二十日

十二月二十日 ~ 一月十日

使用料(冷暖房込み、台所使用可)

10:00a.m.~3:00p.m.	
一階和室	八畳
一階和室	六畳
一階洋室	
一階ホール	
	一、五〇〇円
	一、五〇〇円
	一、五〇〇円
	三、〇〇〇円

宿泊について(冷暖房付台所・浴室使用可)

この度宿泊料がお安くなりました

宿泊料 一泊一名 二、五〇〇円

収容人数 十名

チェックイン 三時 ~ 五時 p.m.

チェックアウト 十時 a.m. まで

(宿泊は二名より)

申し込み方法

二週間前までにマリアンハウスに電話あるいはFAXでお申し込み下さい。

キャンセルは五日前までにご連絡下さい。それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

マリアンハウス

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

TEL・FAX 〇七五(七〇一)九一四九

同窓会アクティビティー

クラス	講師	内 容	場所・日時	責任者
英文雑誌の講読	シスターセリン松本	やさしい英文誌からTIME誌まで様々な話題をとりあげる (日本語で行われる)	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月24日より開始	丹羽 知子 (9E)
聖 書	シスターセリン松本	より豊かに生きるために聖書を日常生活と関連づけて読みます	ND大学ユニソン会館 第4金曜日 13:00~15:00 5月24日より開始	林 いく子 (4E)
英 会 話	シスターモリーン	能力に関係なく楽しめる英会話です	ND大学ユニソン会館 同窓会室3階 第2・第4月曜日 10:30~12:00 5月13日より開始	熊谷 紀子 (19E) 吉田喜代子 (21E)
書 道	寺田九絲	漢字は三體 (さんたい) 千字文、かなは梅雪かな帖等をおけいこします	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30~12:00 5月15日より開始	稲本美也子 (18E)
仏 語	阿倍哲三	講読、箴言を通して、仏語の勉強以外にまで世界が広がるとても楽しいクラスです	ND大学ユニソン会館 同窓会室3階 第1・第3火曜日 10:30~12:00 5月21日より開始	中川 淑子 (8E)
手芸ボランティア		手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せ下さい。	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00 5月17日より開始	岡 和 (4E)
日本文化研究会 “歴史の舞台巡り” 曜日は全て第4火曜日です		2002. 6. 25. 相樂園 (JR元町)、須磨離宮 (武庫離宮) 【神戸】 9. 24. 石清水八幡宮、松花堂 【京都】 10. 22. 三十三間堂、風俗博物館 【京都】 11. 26. 對龍山荘、無隣庵 【京都】 2003. 1. 28. 新年会 (場所未定) 2. 25. 清水寺、陶芸教室 【京都】 3. 25. 唐招提寺、薬師寺 【奈良】 4. 22. 壬生屯所旧跡、壬生寺の狂言 【京都】		大隅万佐子 (2E) 松村早希子 (2E) FAX連絡先 マリアンハウス (075) 701-9149
聖書クラス (中部支部)	シスターセリン松本	聖書の読んだ箇所の各人の感想とシスターの解説	みこころセンター (052-971-0334) 地下鉄 桜通線、名城線 久屋大通下車 (2番出口より北へ徒歩3分) 第2金曜日 10:30~12:00 祭日は休講	加藤真理子 (2E)

※各クラス参加費は学期毎に1,500円。
 ※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送りいたします。
 ※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。
 ※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。

訃報

御冥福を心からお祈り
申し上げます。

竹島 幸一神父

平成12・4・14 帰天

ジャン・メルオー神父

平成12・5・17 帰天

シスター・ヴィヴィアン

ヘズレット様

平成13・4・18 帰天

ブルース・ガイスラー教授

平成13・11・11 帰天

西岡 諄 元教授

平成12・3・30 帰天

扇田 信 元教授

平成12・10・3 帰天

市川 康夫 元教授

平成12・12・21 帰天

西村 久子様 (学長秘書)

平成13・4・26 帰天

川村 淑子様

(旧姓近藤) 11E

平成13・3・18 帰天

岩本葉子様

(旧姓田中) 10C

平成13・4・10 帰天

編集後記

皆様のご協力のお蔭をもちまして本年もマリアンを発行する事が出来ました。ありがとうございます。

広報 大塚・片桐